

広 報

ちば市連

VOL.24
2006.1

発行：(社)千葉市老人クラブ連合会 千葉市中央区千葉寺町1208-2
千葉市ハーモニープラザ3F ☎043-262-1236

2006年－新年号



社団法人 千葉市老人クラブ連合会

もくじ

■ 新春を迎えるにあたって

千葉市老人クラブ連合会会長 長谷川 省悟

■ 年頭のご挨拶

千葉市長 鶴岡 啓一

■ 戌（いぬ）年生れの抱負

新年の抱負

幕張地区老連会長 鈴木 賢市郎

新年 雜感

千城地区老連会長 香取 敬三

戌年に思う

真砂地区老連 サンハイツ楽らく会会长 内田 圭二

継続は力なり

土気地区老連 サニークラブ副会長 宮内 貢

健康一番

北地区老連 野村園生シニアクラブ 中山 律子

■ 老人クラブ活性化対策委員会の発足

委員長 岸岡 泰則

■ 広報部リレー訪問記

100名を達成した元気印のクラブ 若葉区みつわ台長寿会 広報部長 岩崎 栄則

■ 事務局だより

■ 写真で見る2005年市老連

■ はじめての試み健康ウォーキングに320名が参加 緑区老連会長 岩崎 栄則

■ 文芸

■ ニュースの広場



新春を迎えるにあたつて

千葉市老人クラブ連合会 会長 長谷川 省悟

平成十八年の新春を迎え、会員皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、謹みて新春のご祝詞を申し上げます。

昨年は平成七年一月に発生した阪神淡路大震災から十年を迎え、また戦後六十年という大事な節目の年でもありました。

この出来事に関連して、各都道府県市においていろいろな活動がなされ、その報告が第三十四回全国老人クラブ三重大会がありました。

特にこの大会での特徴は、従来研究部会分科会での事例発表は全老連の三大活動目標である健康・友愛・奉仕についてが主でありましたが、今回は「伝える」—私たちの体験を伝える分科会と「安全・安心のまちづくり」の分科会が新設され、両分科会とも活動事

例の発表と協議が活発に行われ時代の変わりを感じられました。

「伝える」分科会では「かたりべ」活動として、小学生を対象に老人クラブ会員が戦争体験を語り、すいとんを食べ、昔の遊びを伝授し楽しい時間を共有する事例や神戸市で大震災を体験された会員から生々しい被災地の状況や不測の災害を念頭に置いた危機管理システムの構築など多くの教訓が発表されました。

「安全・安心のまちづくり」分科会では防犯防災活動として地域の各種行事での防犯特別パトロールの実施や交通事故ゼロ運動の推進などの活動事例報告や区民、事業者、警察署、消防署及び関係機関が一体となって、防犯、違法駐車、放置自転車対策、交通安全、

青少年健全育成、防火、防災などをを行う安全・安心で快適なまちづくり推進協議会の設立とその活動についての発表がありました。

この二つの活動は今全国各地で盛り上がっております。市老連でも高齢者ができる平和の尊さや他人に対する思いやり、生きる楽しさの共有など、この運動を推進して行きたいと思います。





年頭のご挨拶

千葉市長 鶴岡啓一

社団法人千葉市老人クラブ連合会の皆様、明けましておめでとうございます。

希望に満ちた新年を健やかにお迎えのことと、お喜び申し上げます。

また、昨年中は、市政発展のため多大なるご理解・ご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

昨年本市は、千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド千葉の大活躍、また、動物公園のレッサーアーバンダ「風太くん」などの明るい話題が続いた中で、「蘇我球技場（フクダ電子アリーナ）」をはじめ、「アクアリンクちば」「千葉市斎場」「若葉保健福祉センター」「少年自然の家」など、市民スポーツの振興や健康増進の促進、また、市民福祉

サービスや教育環境の充実・向上を図る施設をオープンしたほか、子育て支援策の拡充や防犯活動への積極的な支援、各施設のバリアフリー化等、安全・安心のまちづくりを推進するなど、ソフト・ハード両面のバランスのとれた施策の展開を図り、多くの成果をあげることができたものと存じます。

迎えた本年は、引き続き厳しい財政環境にありますが、新たにスタートする「第二次五か年計画」を基本に、本市の将来像の実現と地域の均衡ある発展に向けた施策の展開を図つて参ります。

私は、本年も、九十二万市民の皆様が、千葉市に夢と誇りを持ち、安全で安心して暮らせるまちづくりに全力を傾注して参る決意でありますので、旧に倍したご支援・ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

年頭にあたり、社団法人千葉市老人クラブ連合会皆様のますますのご健勝・ご多幸をお祈りいたします。ご挨拶といたします。

戌(いぬ)年生まれの抱負

新年の抱負

幕張地区老連会長

鈴木 賢市郎

新年あけましておめでとハジマリます。昔は、正月を迎えると年が一つ増えたと言されました。

平成十八年は、「戌年」。犬のように元気意外を駆け回れる様な年であるように心掛けようと思います。

今年の目標として、足腰を鍛える運動を中心に行って行きたいと思っています。

年々高齢者が病気になつたり、身体の自由がきかなくなつたりして会員も辞めたりして減少しております。高齢者の体力保持のため会員に呼びかけ、「練功十八法」中国から渡來した体操、「じきいきクラブ体操」、「ストレッチ体操」の三種類を月一回公民館で実施したところ、希望者が多くなり、ゆっくりした運動なので、九十才の方や八十才の方も八人おり、出席率も九十パーセント以上と一時間程楽しんでおります。又参加者で老人

会員加入の方に入会をすすめ、会員を増やすことにも努めております。数年前から県医療技術大学校の学生が毎年体操の実習に参加しております。

運動の必要性を私達高齢者にとっては、今後的人生には大切な事柄だと思っておりますので、何時までも続けて行きたいと思います。会員の皆様と共に元気で長生きをして人生を楽しみましょう。

新年 雜感

千城地区老連 会長

香取 敬三

高齢者を支え友人と手をたずさえしすばらしい生活を送るために今求めているのは心豊かな生活・社会を築くことです。

それには健康第一です。「一日一回は外に出掛けよう」「友人や仲間を多く持つ」「家中や身の回りを安全に」「食生活に気をつけて」「趣味を多く見つけよう」「毎日運動をしよう」等、毎日の生活に役立たせることが必要と想えられます。

「話し相手」は友達を選びます。人と話すとすると話題が進み楽しい時間を過ごせることがあります。沢山話すと「ボケ防止」になります。

会員同志や会員以外の多くの人とも仲良くなっていることが大切なことになります。本市では花のある街、じみのない街をめざしています。公園掃除や一日一善を心掛けている人が多く見受けられます。

心のやさしい高齢者が多く住んでいる街にしたいものです。

どうすれば新しい仲間を増やすことが出来るのでしょうか。
答は簡単にはありません。

でも次の言葉はどうぞ。それは「友人同志の会話から」や「ぱり友人同志の話題が必要と考えられます。今年は友人をたくさん作り仲間をたくさん作りましょう（一九三四年十一月生れ 甲戌）



戌年に思う

真砂地区老連 サンハイツ樂らく会会長

内田圭二

継続は力なり

土氣地区老連 サニークラブ 副会長

宮内貢

健康一番

北地区老連 野村園生シニアクラブ

中山律子

と、その思いを新たにします。

先日大学の後輩が退職したときのこと。彼の述懐で「自分にはもう一つの人生があつたような気がする」という話を聞いた。去る人には三十数年、四十年とその間多くの人々や家族に支えられての人生であろう。その内面を見るにどうも劣等感的な考え方が優先したものではないかと思われる。

人と生まれて七十年、不器用ではあるが、

積み重ねてきた年輪には重みがあるが、そんな自分を良く知っているから「もう一度人生を振り直したらどうだ。」と神様が囁いてくれたとしても、同じ条件が自分をとり巻く限り「やはり同じ道を歩くであらう」としか思えないのです。

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

戌年生まれということで指名されました
が、今年の抱負は個人的にいろいろあります
が、やはり、サニークラブの活動を会員の理解・協力を得て充実させて、これまでの活動を「継続は力なり」を目標にすすめていきた
いと思います。

サニークラブは三十六人のクラブですが、活動内容は、会員の親睦はもちろんですし、月一回、地域住民の安全のための町内巡回（パトロール）社会奉仕（清掃など）や高齢者の交通事故防止のための交通安全教室を開催したり多面的な活動に自負しています。

またクラブの社会参加の目で、たとえば、横田めぐみさんをはじめ北朝鮮による「拉致被害者」の全員救出のための署名運動に協力していることも、その一例です。

明けましておめでとうございます。平成十八年の新春を皆々様方におかれましてはご機嫌麗しくお迎えのことと存じます。

年を重ねるにつれ自分が健康で居る事の有難さをしみじみと考える様になりました。

百歳万歳を目標に頑張りたいと念じ、先ず体の鍛錬からと思い、今は毎朝五時、夏は四時に家を出て、スポーツセンターを一周してます。

星空を眺め乍らの散歩は気持のいいものです。そして如何に多くの人達が歩いておられる事でしょう。

特にこの頃は体の健康だけでなく心の健康という事を考えます。建築業界の闇の部分が明るみに出て、姉歯建築事務所事件には驚きました。窮屈は人間の金への執着が為せる技ではなかろうかと思います。

今年はどうぞ明るい楽しい年となりますよ
うに念じ乍らペンを置きます。

この先、自分に新たに囁いてくれるのである日々に大いに期待を寄せながら、良い年輪を加えていきたいものと願う毎日です。

老人クラブの衰退がいわれていますが、私たちは地域に役立つ、地域密着型の活動をして、高齢者の関心を引きつけ、現状を変えながらふみとじまつて飛躍の年にしたい

老人クラブ活性化対策委員会の発足

委員長 岸岡泰則

活性化対策委員会委員

平成17年8月現在

役職名	氏名	所属役職名
委員長	岸岡泰則	若葉区老連会長
副委員長	荒木清	登戸地区老連会長
作業部会	藤森清彦	若松台ふれあい広場会長
〃	小澤淳一郎	検見川地区老連会長
〃	岩崎榮則	緑区老連会長
委員	越智久雄	生浜地区老連会長
〃	吉野保男	こてはし台睦会会長
〃	渡辺晴一	文葉地区老連会長
〃	池澤巖	京成宮野木梅寿会会長
〃	加藤清二	鎌取平成クラブ会長
〃	吉川清也	美浜区老連会長
〃	金巻弘	高洲地区老連会長
〃	土屋稔	千葉市高齢福祉課長
事務局	古山昇	市老連事務局長

12月19日の活性化対策委員会において、女性2名の補充を決めました。

市老連では、昨年八月二十六日「老人クラブ活性化対策委員会」を設けました。

この委員会は、市老連会長の諮問を受け、老人クラブが抱える今日的な課題について、クラブ運営や活動等総合的に検討し、

会員の加入促進を推進するために、立ち上げられたものです。

さて、ここでいうところの老人クラブの抱える「今日的な課題」とは何でしょうか？

おられます。

年間平均五五〇人位のペースで減少してきております。特に平成十六年度中に、四地区老連、三四クラブが姿を消し、一、六九一人の会員減となつております。

長寿高齢者が増えている世の中とは裏腹に、老人クラブ会員や単位クラブが、慢性的に減少傾向にあることは否めませんが、十六年度のこの現象は、異常な事態と受け止めなければなりません。

このことはまさに市老連にとって、今日的な大きな課題といえましょう。

一方、多くの会友（役員・会員）は、地道に、懸命にクラブの運営にあたり、活発

少し説明を加えてみます。遡って昭和六十年代市老連会員は二二、〇〇〇人台でした。以降減少を続けて平成十六年度初めには、一四、〇〇四人となり、平成十七年四月一日現在では、一一、三一三人となつております。

な活動を展開し、会員を増やしていく仲間もたくさんおります。

活性化対策委員会は、これらのさまざま現象や課題に着目して、これを率直に分析し、また反省検討を加えて、活力のある老人クラブの組織活動を構築する方針を見出していくことに念じております。

その基礎資料とするために、先般クラブ活動に関する「アンケート」を実施しました。アンケートは「区老連別抽出法」によつて、一〇〇クラブを対象にお願いし、六三クラブから回答を頂きました。率直で建設的な多くのご指摘、ご提案を頂いております。

委員会では、作業部会を設けて、その内容や対応策等について検討を続けております。活性化方策にも、当面早期に実現したいものもあれば、中・長期的視点で取り組む問題もあります。各区、各地区、単位クラブにおかれましても、引き続きご意見、ご提案、新たな発想などありましたら、隨時寄せて頂きたいと考へております。

終わりに委員一同も心して、不活性化しないよう努めておきますので、よろしくお願いする次第です。

広報部リレー訪問記

広報部長 岩崎栄則

100名を達成した元気のクラブ 若葉区みつわ台長寿会

広報部の一ヶ月七

市老連には単位クラブが一六七ある。その内訳を会員数別でみると三〇名台が半数の一三〇クラブ。一〇〇名台が一クラブ。一〇〇名台が七クラブ。昨年十月に一〇〇名を達成した若葉区みつわ台長寿会は、その七番目である。

市老連の芸能大会で市議会議長に輝いた出演者の写真があり、声をかけると「つう草履は公民館の文化祭に出品して好評だったの、参加できなかつた会員さんたちに見てほしご」と。私は一重丸ならぬ、先ほど見た大輪を押したいと思うほどだった。

★笑い声が絶えない例会



井料シジ子会長のさわやかな挨拶で例会がはじまった。私は田で追つてみると出席者は七〇名を越えている。出席率が七〇%はすぐのことだ。しかも例会は笑い声のかで進行し、新会員の紹介、誕生祝、サークルの報告など運営が実際に手際がいい。私がおどろいたのは例会で終わるスケジュー

十一月十一日朝、モノレールみつわ台駅の階段を下りると、みつわ台公民館は目の前にある。早く着いたので商店街やその辺を散策して戻つてみると商店街にあるたば屋の店頭に菊の鉢が並べられていて、見事な大輪が咲き競つていた。

ほのぼのとした気分でみつわ台公民館の玄関に入ると奥の方からにぎやかな声がきこえてきた。会場に顔を出すと壁に飾りつけをしてくるグループがいる。カラフルなつる草履に、私は感嘆した。その下段には

ルでなかつたことだつた。例会後、それぞれのサークル活動があるないとエネルギーをつぶべ感じた。

★井料会長に聞く

例会の休憩時間に、井料会長にお話を伺つた。

何よりも「会員をふやかす」と思つたまつかけは」と私はきり出した。井料会長は、「平成十四年、市老連の通常総会にはじめて出席した時、長谷川会長が挨拶の中で、会員加入率が全国最下位・千葉市と聞き、何故だらうと疑問を持つたんです。

みつわ台長寿会は当時は団〇の如いたので、少人数より多勢でワイワイガヤガヤが楽しいのではないだらうかと。それで、みんなでお隣り、お友だち、知合いの方に声がけしようと一声運動がはじまつたん



ですよ。私は例会時には、耳にタコができる位、話してお願いした以上、自分が手本を示さなければと一生懸命動きましたね。私は聞いていて何度もうなづきながら、「一〇〇名を越えて、会の運営が大変なんぢやないですか。」と聞くと、「うかも知れませんが、これからは輪づくりが必要でしょうね。うちの会には十八のサークルがあるんですよ。」と聞こ、「今日の例会に五名の見学者がみえてこますよ。」と聞いたので、私は思わず「見学者つて」と聞か返すと、「公民館の文化祭で、うちのクラブで出品したつる草履を見た方が、どうこう活動をしているか関心を持つて来てこられる。加入の予備軍になつていらぬんですね。」と答え

会員状況の推移

年月日	会員数	会長	摘要
平成11. 4. 1	35	奥村新司	
12. 4. 1		〃	
13. 4. 1	42	〃	
13.10. 1	42	井料シヅ子	会長交代
14. 4. 1	49+7	〃	
15. 4. 1	60+11	〃	
16. 4. 1	67+7	〃	
17. 4. 1	84+17	〃	
17.10.14	102+18	〃	

が返つてきし私は感心しきりだつた。会長の表情から現状に甘んじる」となく先を捉えていようとした。

★例会後、手づくりのスポーツで交流

例会後、出席者が

帰ると思っていた私は「えっ」と声を出した。会場の後で始めてこるので、私もればに行へど、それそれがボールを手にもう上げ合つてゐる。聞いてみるとペントボトルを材料に作り、玉はアルミを丸めたものだという。正しい名称はどうりど、私自身あいまいだったが、参加してやつてしまつ、いきなりの初心者ではコツが分からず周りから笑われてしまつた。例会がこのように会員中心の雰囲気で行われてこひりにすがすがしい氣持になつた。

この訪問にあたつて若葉区老連の藤森さん、都賀地区老連の駒田さん、光年クラブの若本さんにお世話になり厚く感謝申し上げます。



明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願ひいたします

事務局だより

前号では、主に5月に開催された第20回通常総会についてお知らせしましたが、本号ではその後行われた行事について報告します。

第34回全国老人クラブ大会

10月5日・6日、三重県で開催され、当会から16名が参加した。

大会において全老連会長表彰があり、優良老人クラブとして「誉田団地健勝会」「若葉区老人クラブ連合会」「育成功労で岸岡泰則副会長が表彰された。

第26回芸能大会

10月12日
チーム出場
審査結果は

市長賞
真砂女性会 (美浜区)
議長賞
みつわ台長寿会 (若葉区)
社協会長賞
検見川第2高砂会(花見川区)
市老連会長賞
小仲台地区女性委員会
(稲毛区)

第11回グラウンドゴルフ大会

11月29日、青葉の森スポーツ
ツープラザにおいて開催し、
29チームが参加した。

老人クラブ活性化対策委員会 設置

近年、市老連が抱える諸問題を協議、検討するため、8月26日に委員会を立ち上げた。内容については別記。

(中央区)

(6ページ)

第23回ゲートボール大会

10月20日

青葉の森スポーツプラザに

おいて開催し、27チームが熱戦を繰り広げた。結果は、

優勝 鎌取 (緑区)
準優勝 2丁目真砂会

第3位 千種長寿会B (花見川区)

指導者研修会

12月13日

千葉市文化センターで開催。

約400名参加。

講演テーマは「高齢者のためのカラーコーディネート」
講師 安原富美子氏(カラーファッションコーディネーター)

ホールインワン賞 61名

第2回女性リーダー研修会

12月15日

市役所8階正庁で開催。約250名出席。

10月4日・5日に行われた全国老人クラブ大会三重大会参加者の研究部会の報告。

老人クラブ活性化対策委員会 設置

近年、市老連が抱える諸問題を協議、検討するため、8月26日に委員会を立ち上げた。内容については別記。

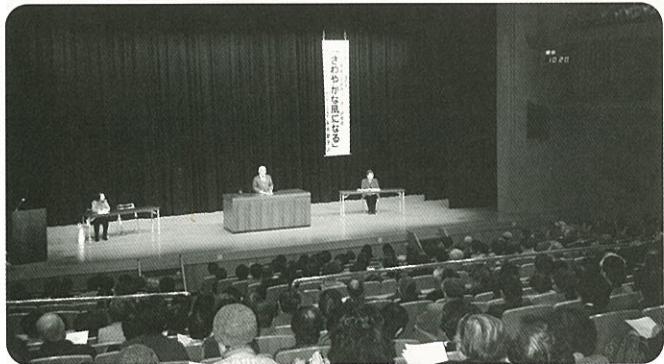


平成17年8月21日 千葉市親子三代夏まつり



指導者研修会

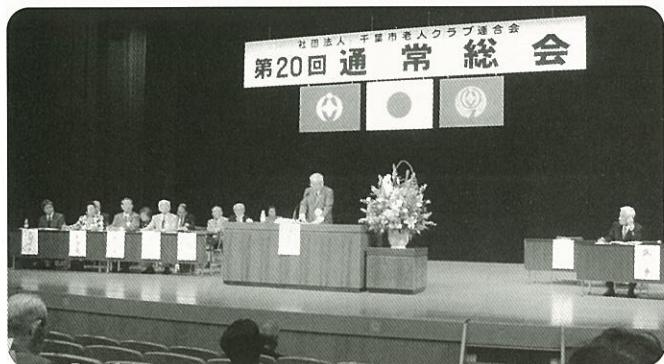
写真でみる2005年市老連



3月17日(木) 第3回 女性リーダー研修会



1月18日(火) 新年会



5月26日(木) 第20回 通常総会



3月23日(水) 第19回 通常総会



6月29日(水)～7月1日(金)
関東ブロック 老人クラブリーダー研修会



6月15日(水) 歓送迎会



7月11日(月)～12日(火)
会員研修旅行(蛇の鼻御殿)



7月8日(金) 第4回 スカイクロス大会



10月5日(水)～6日(木)
全国老人クラブ大会 三重大会



8月5日(金)～8月8日(月) 第40回 作品展



10月20日(木) 第23回 ゲートボール大会



10月12日(水) 第26回 芸能大会



10月25日(火)～27日(木)
参加者最高齢者 乾杯



10月25日(火)～27日(木) 女性委員会研修旅行
湯沢温泉 研修「旅館おかみの一日」



11月29日(火)
第11回グラウンドゴルフ大会



11月24日(木) 「健健康ウォーキング」
日本エアロビクスセンター

はじめての試み

健康ウォーキングに110名が参加

緑区老連会長 岩崎栄則

十一月二十四日、晴天で気温も高めだと
いう天気予報に、最適なウォーキング日和
になると思った。バスのリレーで三ヶ所か
り仲間が乗るにつれて会話がはずむ。近道
だといって山道をバスが走り、予定時間より
早めに日本工アロビクスセンターに到着
した。

「おい、すごいな、次々とバスが来る」
といったので見ると次々とバスが到着し降
りてくる。会場に入ると、すでに満席であ
る。仕方なく後に行くと立つたり床に座つ
たりしている。椅子は一五〇席と聞いてた
がそれよりはるかに多い。

講演が始まる。講師は指導員の関川源一
郎氏で、ウォーキングの知識について話さ
れたあと軽い体操、まだ体がほぐれていな
いこともあってぎこちないとと思い苦笑しな
がら体を動かす。

昼食は会場やその周辺で、それぞれ仲間
同志でくる。センター前のグランドでは、
どこの女子チームが走りつづけている。

若いひととはいいことだなあと自問しな
がらその走りをみていた。

昼食後、いよいよウォーキング開始であ
る。開会式のあと指導員によるストレッチ。
さあ出発、三班に分かれてスタート。緑区
老連は最後尾。ながらかな山道をゆっくり
歩いて周辺の紅葉した樹々を田におさめ、
仲間と会話するのも楽しい時間だと思つ
た。先頭者が持っている市老連ののぼりを
みて「やつぱり区老連ののぼりがあつたほ
うがいいわね」と女性会員がいつ。「いい
こというね」と相づ
ちを打つ仲間。やは
り行事をすると知恵
が出るものだと感心
する。

山道を一キロ歩い
て出発場所にゴー
ル。休憩後、お樂し
みの時間帯。そのな
かで感心したのはハ



会場を埋めた参加者たち



▶さつそく歩いてい
る参加者



◀満足そうな
表情です

十才以上の参加者に記念品を贈っていた
が、最高年令は八十八歳の大石太一さん
(中央区 松波松寿会) 私などは大石さん
の息子にあたる年令だ。弱音を吐いている
ことを反省した。お楽しみゲームやウルト
ラクイズなど仲間との交流を満喫し、帰り
のバスに乗るために駐車場に行くと七台のバ
スが待っている。

帰途のバスで缶ビールで乾杯し、参加者
から「また来年もやるんでしょうね」「ま
た参加するよ」と声がかかった。
参加者一同、満足気な表情であった。

ニュースの広場

孫守れ！シルバー決起

老人クラブ、下校同行 栃木今市

栃木県今市と広島市で小学校から家に帰る途中にわざに消えてしまつた一年生、変わり果てた姿で発見されるという痛ましい事件です。しかも、学校や家庭で守りきれない下校時という死角です。そこを埋める地域社会が問われています。

十二月十六日付の読売新聞朝刊に、「孫守れ！シルバー決起」「老人クラブ、下校同行」（栃木・今市）の記事が掲載されました。

その記事は、「同市内に現在、約二八〇〇人が老人クラブに入つてゐる。お年寄りの間から「日中忙しい父母に代わつて、子どもを守る活動に力を貸したい」と声が上がり、市老人クラブ連合会の柴田義光会長（81）は、「多くのお年寄りは元気に動けるし、時間的な余裕もある」と意欲を見せる。「おとなが自分たちをしつかり見守つていて」その取組みがはじまつてゐる。

広報部

児童生徒の安全確保の取組み

（学校セーフティーウオッチャーの活動のようす。）【磯辺第三小学校にて】



セーフティーウオッチャーとは、「見守る人」をいう

「ちば教育だより」58号より転載
提供千葉市教育委員会

編集後記

- ◆年が改まり、今年のキーワードは昨年の「災」に代わって、「愛」である。政治・社会・自然・人間に愛が満ちてほしい。
- ◆老人クラブの減少傾向に歯止めをかけたい。活性化対策委員会のふんぱりに期待する。みつわ台長寿会の100名達成の次を望む。

- ◆昨年の市民の日の記念式典で、市政功労者のなかに、前副会長の深山太一さんの名前があった。仲間として祝福したいと思う。
- ◆春遠く、寒さがきびしい折、健康に留意されてください。

（岩）